

平成17年度 事業報告

(財)一宮地場産業ファッションデザインセンター

理事会

- 平成17年 4月18日 ・役員の選任について
(書面議決)
- 平成17年 5月27日 ・平成16年度事業報告及び収支決算について
・役員の選任について
・専務理事の選任について
- 平成17年 7月25日 ・平成17年度補正予算について
- 平成17年11月 1日 ・平成17年度補正予算について
(書面議決)
- 平成18年 2月21日 ・平成17年度補正予算について
・平成18年度事業計画及び収支予算について

運営会議

- 平成17年 8月19日 ・プロモーション部会
- 平成18年 2月 9日 ・事業評価委員会
・事業企画委員会
- 平成18年 2月13日 ・事業運営委員会

PRODUCT

「売れる」ものづくり

1. 新商品開発事業

新テキスタイルの試作・開発

愛知県産業技術研究所尾張繊維技術センターの協力により、複合技術、加工技術を工夫した製品の開発を行った。

- ・新ギマ加工梳毛織物 1点
- ・新ギマ加工梳毛・綿織物 1点
- ・変形コールテン 1点
- ・凸凹プレス加工織物 1点
- ・マイグレーション染色織物 1点
(毛織物の特殊な染色)

2. 新商品開発支援事業

糸の展示会を尾州で開催し、川上ヤーンメーカーと川中テキスタイルメーカーのコラボレーションチャンスの場とし、他には真似のできない「モノづくり」を創出することにより産地の新たな活路の開拓を図った。

会 期 平成18年2月7日(火)～9日(木)

出展者 紡績メーカー及び糸の取扱業者等41社

来場者 2,927名

PERSON

マーケター養成(カレッジ技の尾州支援事業:特別会計)

1. マーケター養成等事業

(1) 事業戦略講座の開催

ファッション業界及び関連尾州企業の経営者・幹部等を対象に、受講者自身が論理的に考え、実践的な判断を行う力を醸造するために、企業事例やリアル・ケース、経営分析、キャッシュフローを自ら判断しながら、ビジネスモデルを立案する形で最終的なまとめを行った。

・期 間 平成17年6月18日～平成17年12月17日

・受講者数 13名

(2) 川下への人材派遣

A・D・O(全日本デパートメントストア開発機構)本部主催「A・D・O産地研修」へ第2期講座修了生の中から5名を派遣し、百貨店業界との交流促進を図った。

・派遣人員 5名

2. 各種セミナー開催事業

(1) マーケットセミナー

と き 平成17年5月20日(金)

テーマ 「春夏婦人服市場の動向と今後の見通し」

講 師 (株)伊勢丹MD統括部婦人第1営業部

商品担当部長 湯谷 信治氏

テーマ 「2006Spring&Summer TEXTILE FORECAST」

講 師 インターアイ 代表 富塚 晶子氏

受講者 46名

と き 平成17年11月18日(金)

テーマ 「秋冬婦人服市場の動向と今後の見通し」

講 師 (株)伊勢丹MD統括部婦人第1営業部

商品担当部長 湯谷 信治氏

テーマ 「2006-07Autumun&Winter TEXTILE FORECAST」
講師 インターアイ 代表 富塚 晶子氏
受講者 75名

(2) FDC 特別セミナー

とき 平成17年4月4日(月)
テーマ 「2006 春夏ヨーロッパ素材展緊急報告」
講師 伊藤忠ファッションシステム(株) 池西 美知子氏
受講者 49名

とき 平成17年10月21日(金)
テーマ 「2006/07 秋冬ヨーロッパ素材展緊急報告」
講師 Studio・M 代表 諸橋 利枝氏
受講者 54名

とき 平成18年3月27日(月)
テーマ 「2007 春夏ヨーロッパ素材展緊急報告」
講師 Studio・M 代表 諸橋 利枝氏
受講者 37名

(3) 技術セミナー(テキスタイル技術、染色加工、アパレル技術、インテリア技術)
織物加工技術講習会

とき 平成17年6月16日(木)
テーマ 「獣毛の染色加工」
講師 尾張繊維技術センター 加工技術室 主任研究員 山本 周治氏
テーマ 「レクトロスピニングが開くナノファイバーの未来」
講師 滋賀県立大学 工学部講師 山下 義裕氏
受講者 59名

染色加工高度化セミナー

とき 平成17年8月25日(木)
テーマ 「薬剤発泡加工技術の動向」
講師 倉敷紡績(株)エレクトロニクス事業部 吉住 泰雄氏
テーマ 「最近の繊維用水性加工顔料の開発動向」
講師 山陽色素(株)姫路工場 製造技術4グループ
色彩情報システム課 阪田 暁氏
受講者 65名

テキスタイル技術講習会

とき 平成17年9月7日(水)

テーマ 「部分緯糸挿入装置の開発について」
講師 尾張繊維技術センター 開発技術室 主任研究員 安藤 正好氏
テーマ 「ポリプロピレン長繊維の衣料適正について」
講師 三菱レーヨン(株)繊維開発センター 副主任研究員 山本 洋氏
受講者 86名

と き 平成18年2月3日(金)

テーマ 「化学繊維の機能性素材の開発動向について」
講師 日本化学繊維協会・大阪事務所長兼技術グループ
グループ長 山崎 義一氏
テーマ 「最近の紡績機械とヴォルテックス系について」
講師 村田機械(株) 繊維機械事業部技術サービス部課長 松本 龍守氏
受講者 61名

アパレル技術セミナー

と き 平成17年11月28日(月)

テーマ 「中国における我が国企業動向と市場展開の見通し」
講師 東海日中貿易センター業務部 部長 石原 和己氏
テーマ 「メンズアパレルの技術課題と今後の展開」
講師 (株)ダーバン 技術統括担当部長 相馬 成男氏
受講者 50名

インテリア技術セミナー

と き 平成17年12月13日(火)

テーマ 『最近の天然素材繊維開発について』
講師 倉敷紡績(株) マーケティンググループ主任部員 鈴木 洋行氏
受講者 30名

(4) 学生向けセミナー

と き 平成17年5月19日(木)・20日(金)

受講者 7校184名

と き 平成17年11月16日(水)・17日(木)

受講者 10校354名

(5) 新規採用者セミナー

と き 平成17年6月14日(火)・15日(水)

テーマ 「素材と糸」「織物の知識」「ニットの知識」「染色の知識」
「仕上と加工」「縫製の知識」「繊維の試験」「施設見学」

受講者 59名

3. 新しい型の繊維産業構築支援事業

(1) 次世代型繊維産業構築のための支援

尾張繊維技術センターと共同で、産学官の連携、新分野進出（脱衣料）を目指した活動を積極的に支援を行った。

(2) テキスタイルプランナー育成

テキスタイルプランナーの交流・研鑽の場としての「FDC テキスタイルプランナー協議会」の組織・運営を行った。

グループ研究活動の実施

(ア) 環境に優しい素材（ポリ乳酸）を使った新しい風合いの織物の試作を行った。

(イ) 「エコロジー&ドリーム」をテーマに環境に優しい素材技術を活用し、さまざまな分野とのコラボレーションによる製品開発を行った。

(3) 各種活性化グループの支援

「FDC 匠ネットワーク」、「尾州房」等産地活性化グループの活動を、側面から支援を行った。

(4) 新ビジネスモデル構築の支援

国の川中繊維事業者自立事業に申請を希望される企業を、側面から支援するコンサルティング業務を行った。

【平成17年度申請分】

・申込企業数 10社

・業務回数 5回（平成17年4月5日から平成17年5月2日）

【平成18年度申請分】

・申込企業数 8社

・業務回数 5回（平成18年2月28日から平成18年3月28日）

人材育成プロジェクト(繊維産業製造中核人材育成事業:特別会計)

4. 繊維産業製造中核人材育成事業

産業界と大学が連携して、多様化するニーズに対応すべく素材の複合化技術や産地に受け継がれる高度な製造技術などにより差別化・高付加価値製品を企画、効率的に製造できる能力を有する繊維産業の中核人材育成プログラムを開発した。

(1) 実践技術科 繊維工学・前期

環境新素材、繊維の複合化に欠かすことのできない、紡績から染色整理までの基礎的な知識・技術を、座学と実習を交えて広範に習得するためのカリキュラム開発を行った。

・カリキュラム開発等再委託先 岐阜大学

(2) 実践技術科 繊維工学・後期

繊維工学・前期の一貫した製品製造の知識・技術の学習を踏まえ、複合素材織物の製造等、製造現場の今日的な課題の解消に係る各専攻のスキルを講義、実習、インターシップにより習得するためのカリキュラム開発を行った。

・カリキュラム開発等再委託先 岐阜大学

(3) 実践技術科 ファッション・デザイン工学

ファッション・トレンド、消費者ニーズなどの情報の把握、デザインの改良等を繊維工学と併せて習得するためのカリキュラム開発を行った。

・カリキュラム開発等再委託先 多摩美術大学

(4) 実践技術科 繊維工学、ファッション・デザイン工学の実証講義

カリキュラムに従い実証講義(座学)及び実習を行った。また、実習講義を通じてテキスト・教材等の見直しを行った。

(5) 次年度事業、自立マスター科のカリキュラム開発準備

先端技術の繊維への応用と製品企画開発についてのカリキュラム作成の準備を行った。

PROMOTION

ビジネスチャンスの創出

1. 東京展の開催

ファッション・ビジネスの中核機能をしめる東京市場において、ユーロ・テキスタイル・プロジェクト・チーム、FDC匠ネットワークがモノづくりに取り組み、東京・青山ベルコモンズでの展示会を開催し、販路の開拓、市場ニーズの把握を行った。

J B (ジョイント・尾州) 春夏東京展

会 期 平成17年6月14日(火)～16日(木)

会 場 青山ベルコモンズ(東京都港区)

内 容 ユーロ・テキスタイル・プロジェクト・チーム開発素材141点、
FDC匠ネットワーク開発素材42点の展示。

成 果 5,869点のリクエスト

J B (ジョイント・尾州) 秋冬東京展

会 期 平成17年11月7日(月)～9日(水)

会 場 青山ベルコモンズ(東京都港区)

内 容 ユーロ・テキスタイル・プロジェクト・チーム開発素材160点の展示。

成 果 5,199点のリクエスト

2. ユーロ・テキスタイル・セレクション展の開催

ネリー・ロディ社との提携によりヨーロッパ市場を中心に収集した2006春夏及び2006/07秋冬トレンド・インポート・ファブリック、アパレルを尾州テキスタイル・エキシビション会場において展示し、トレンドポイントを確認した。

2006春夏

会期 平成17年5月18日(水)～20日(金)

内容 テキスタイル100点、アパレル8シルエットの展示

来場者 882名

2006/07秋冬

会期 平成17年11月16日(水)～18日(金)

内容 テキスタイル100点、アパレル8シルエットの展示

来場者 1462名

3. 尾州トータルイメージアップ活動の展開

(1) FDC戦略会議の開催

JB(ジョイント・尾州)ブランドの認知度を高めるために一宮商工会議所と連携して、パリでの展示会などの海外進出について積極的な取り組みを行った。

(2) 広報活動事業

尾張西部地域の地場産業のPR及びFDCの利用促進を図るため、パンフレットの配布ならびに地場産業支援機関ネットワーク等を通じて、地域のPR等の活動を行った。

繊維見本市「ジャパン・クリエーション2006」において、FDCの活動内容をPRするとともに、同見本市出展企業のPRを行った。

会期 平成17年12月7日(水)～9日(金)

(3) 月刊情報誌「テキスタイル&ファッション」の発行

尾州からの最新のファッション情報や先端技術情報の発信をめざし、WEBマガジンとして配信した。

発行回数 12回

配信件数 273件

4. 情報提供事業の再構築

(1) ファッション情報収集・提供事業(地域産業育成支援事業:特別会計)

海外情報の収集提供

・インポートメンズファブリックコレクションの作成

ライフスタイルやニーズの変化、マーケット情報、ファッション傾向等を調査・分析し、図書・情報加工室に展示・公開し利用者の便に供した。

2006/07秋冬 40マップ

2007春夏 40マップ

トレンドアパレルの収集

秋冬アパレル 8シルエット

春夏アパレル 8シルエット

トレンド情報の普及

収集したアパレルや制作した資料などは図書・情報加工室に展示し、関係企業の利用に供した。

(2) 内外ファッション関係資料提供事業

図書・雑誌等の収集

内外のファッション雑誌、テキスタイル見本帳、図書等の最新資料を収集し、図書・情報加工室、1階ロビーに展示・公開し利用者の便に供した。

ファッション映像情報の提供

世界の最新コレクションや「ブルミエール・ヴィジョン」等、世界の素材展のレポート、売れ筋マーケット情報などの映像データを館内(1階ロビー)で放映した。

(3) ファッション・テクノ工房事業

各種情報の提供

FDCが所有する文字情報やトレンド情報などの各種情報をインターネット・ホームページにより発信を行った。

「ものづくり」のための支援

柄シミュレーションシステムを活用し織物の企画・試作の支援を行った。

APPEAL

地域の魅力発掘

1. 地場製品の即売事業

1階常設展示場南側に設置してある市町村コーナーの中に展示即売コーナーを設け、地域地場産業の即売を行った。

地場産業振興連携事業として、民間Webサイト(例:雑誌ネット、乗換案内)と連携し、各地場産業センター及び各地場産品等の紹介をして販路拡大やPRを計画中。

AMUSE

地域住民とのふれあい

1. 地域交流事業

(1) 手描き染教室

前期（水曜日）

と き 平成17年6月22日、29日、7月6日、13日、20日、27日
内 容 ハンカチによる色見本作成、麻布のタペストリー、マール染め
会 場 F D C
講 師 堀江染織研究所 富田 悦子氏 西岡 十三子氏
参加者 13名

後期（水曜日）

と き 平成17年12月7日、14日、21日、平成18年1月11日、
18日、25日
内 容 ハンカチによる色見本作成、テーブルセンターの染色、ハンカチの藍
染め
会 場 F D C
講 師 堀江染織研究所 富田 悦子氏 西岡 十三子氏
参加者 18名

（2）手織教室

前期（木曜日）

と き 平成17年6月23日、30日、7月7日、14日、21日、28日
内 容 初心者 マフラー
経験者 マフラーまたはランチョンマット
会 場 F D C
講 師 手織工房やまもも 駒澤 えつこ氏 松田 小百合氏
参加者 20名

後期（木曜日）

と き 平成17年12月8日、15日、平成18年1月5日、12日、
19日、2月2日
内 容 初心者 マフラー
経験者 マフラーまたはポシェット
会 場 津島地域文化広場
講 師 手織工房やまもも 駒澤 えつこ氏 松田 小百合氏
参加者 22名

（3）おやこふれあい教室の開催

と き 平成17年8月11日（木）
内 容 尾張繊維技術センターの見学、手織体験、布を使った魚作り
会 場 F D C
講 師 染織作家 タンゲキョウコ氏 一宮布絵本の会
参加者 親子25組52名

(4) おやこ手織・手染め教室

と き 平成18年3月30日(木)
内 容 手織・手染め体験
会 場 F D C
講 師 染織作家 タングキョウコ氏
参加者 親子15組33名

受 託 事 業

一宮市受託事業

1. 産地製品の常設展示

メンズ及びレディース生地、インテリア織物、意匠撚糸、ニット製品などの産地製品や産地の服地を使用したアパレルを常設展示し、産地PRと販売促進を図った。

展示替 平成17年8月8日(月)

秋冬物生地(紳士・婦人)	98点
ファンシーヤーン	44点
インテリア	41点
アパレル	12シルエット

平成18年3月9日(木)

秋冬物生地(紳士・婦人)	96点
ファンシーヤーン	40点
インテリア	41点
アパレル	12シルエット

2. 地場製品の販売促進事業

ヨーロッパのテキスタイルデザイナーが収集する、トレンド情報に合致したファブリック、アパレル製品を研究し、その成果を公にすることにより、地場製品の生産・販売促進を図った。

会 期 平成17年5月18日(水)~20日(金)

内 容 テキスタイル100点、アパレル8シルエットの展示

会 期 平成17年11月16日(水)~18日(金)

内 容 テキスタイル100点、アパレル8シルエットの展示

3. 展示会における産地製品のPR

J B (ジョイント・尾州) 春夏東京展

平成17年6月14日(火)から16日(木)の3日間、東京都港区の青山ベルコモンズで開催したJ B (ジョイント・尾州) 春夏東京展にユーロ・テキスタイル・プロジェクト・チーム開発素材141点、匠ネットワーク開発素材42点を展示した。

JB（ジョイント・尾州）秋冬東京展

平成17年11月7日（月）から9日（水）の3日間、東京都港区の青山ベルコモンズで開催したJB（ジョイント・尾州）秋冬東京展にユーロ・テキスタイル・プロジェクト・チーム開発素材160点を展示した。

繊維見本市「ジャパン・クリエーション2006」

平成17年12月7日（水）から9日（金）の3日間東京ビックサイトで開催され、当産地からの同見本市出展企業並びに産地のPRを行った。